

介護老人保健施設とね

# デイケア通信『なないろ』

## (端午の節句)

5月5日(火)端午の節句の行事がありました。今回は、かごの中にお手玉などを入れ、その重みで反対側のこいのぼりが上がるという「こいのぼりゲーム」を行いました。チーム分けし、こいのぼりが上がる時間を競いました。「ほれ、頑張れ～」と他のチームからも声援があり、又、こいのぼりが上がったときには「わあ～やった～!!」



と、利用者様皆の喜びの音がホール内に響き渡っていました。最速チームはなんと26秒。遅かったチームは2分と大きな差がありましたが皆楽しみました。



## なぜ、端午の節句に「鯉のぼり」を上げるの？

鯉のぼりは、「黄河の急流に竜門と呼ばれる滝があり、その滝を登ろうと多くの魚が試み、ものの登れたのは鯉だけで、登り切った鯉は竜になった」という中国の故事が元となっており、**男の子の出世を願う意味**があります。

また、鯉は清流に限らず環境がよいとは言えない池や沼でも生きていける生命力の強い魚で、祝い事に鯉を食べる習慣もこの生命力の強さを頂く、という意味もあるそうです。このようなところから、どのような劣悪な環境においても生き抜くことができるたくましさや、立派に成長して欲しいという意味があるのです。

さらに、元々武士の家では男の子が生まれると家紋の入った旗や幟(のぼり)を上げる風習があり、これに対して庶民は幟に縁起物の鯉を描いて掲げていました。これがやがて、中国の故事と結びつき滝を登る鯉のように、鯉のぼりが揚げられるようになったのです。



## 菖蒲湯(しょうぶゆ)

5月4日～9日の6日間、変わり湯として菖蒲湯を行いました。菖蒲湯の香りが漂う中「体があつたまるよー!!」「家じゃ出来ないもんね～」などの声が聞こえてきました。

効能：「鎮痛・血行促進効果」

※ちなみに漢方では、菖蒲は健胃薬や打ち身の治療薬に用いられています。

